

15支部を機能させて、票の上積みを!



会員の皆様日頃は連盟活動にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。去る6月21日県連盟総会も多数のご来賓をお迎えして無事に終わることが出来ました。

提出議題も賛成多数を持ちまして全議題が議決されました。その中で第4号議案は次の選挙に向けた重要な案件でした。

平成22年7月には第22回参議院選挙が予想されます。その日に向けて活動が開始されます。活動計画の「勝つ組織を作り上げる」ために全会員を対象に基礎研修を実施致します。忙しい会員皆様が参加しやすいようにミニ研修として施設の中でやっていただきます。修了した方には修了証を差し上げることになっております。今年と来年と2年にわたり

行います。修了した会員は登録簿に記載し保存しておきます。

次に会員施設や未加入施設を訪問して看護の責任者にお会いしてご理解を深めて参りたいと思います。これは支部役員とご一緒にまいります。

連盟の役割や意義を知っていただき、代表議員を出すことがいかに大切なことをわかっています。

きめ細かな戦術を駆使して、時の風に左右されない強固な組織を作り、活動する若い看護職を増やし、先輩達が築いてきた宝を無にしてはならないと思います。次回の選挙に向けて動きだす看護連盟15支部と共に票の上積みをしていきます。

新しい候補者も煮詰まっています。皆様にお知らせする日も近いと思います。次回は絶対当選させると心に誓いご挨拶と致します。

最後に、本総会をもって退任する渡辺幹事長、横田監事、長い期間連盟発展にご尽力頂きましたありがとうございました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

新役員あいさつ がんばります。よろしくお願ひします。



栃木県看護連盟
幹事長
直井 八重子

幹事長に就任して

今回栃木県看護連盟幹事長という大役をお引き受けすることになりました。平成12年より16年まで役員として活動して参りましたが、その間に第19回と第20回の参議院選挙を経験しました。ともに当選され喜びに湧いた記憶がよみがえりました。しかし2回ともに目標数には達せず心を痛めました。

平成17年には連盟の組織改革があり栃木県看護連盟となり、各地区ごとの支部単位に研修会が開催され会員1人ひとりに連盟活動が浸透されつつあるようです。しかしながら前回の参議院選挙では大変残念な結果となりました。候補者名ではなく「自民党」と書いた方が多かったようです。

2年後には絶対に看護の代表を政界におくらなければなりません。今から看護協会とがっちり手を組み各支部との連絡を密にして行動をおこしていきましょう。

看護師が自分の力を十分に發揮して楽しく元気に働くようワークライフバランスの整った職場環境改善をめざし、微力ながら看護連盟を通じて頑張りたい

いと思っております。なにとぞ御指導、御協力よろしくお願ひ申し上げ就任のごあいさつといたします。



栃木県看護連盟
監事
山根 昌江

看護の質向上に努力

今年度、栃木県看護連盟監事に就任しました山根です。よろしくお願ひいたします。

昨今、テレビや新聞などに、医療・看護・介護の問題や話題がのらない日はなく、それだけ、社会の期待は大きくなっていると感じているのですが、医療・介護・訪問看護などの現場では、一生懸命仕事をこなし疲れきっている現状があるように思えます。社会の期待に答え、あらゆる場面で安全管理や感染対策など医療看護の質向上に向けて努力している姿を、今表現する必要があると思いました。

また、先々月、阿部議員のお話を聞く機会があり「政治と看護」に対する阿部先生の熱き思いと、お人柄が伝わってきました。他議員との折衝や交流の様子から、大変なお仕事を日々奮闘してくださっていると感謝し「看護職が政治に関心を持ち、立ち上がる」ことが看護職の責務でもあるとも思いました。